第 58 回 安達峰一郎記念賞贈賞式の開催

国際法研究の優れた業績を顕彰する第 58 回 安達峰一郎記念賞の贈賞式が 2025 年 11 月 21 日東京・一ツ橋の如水会館において開催されました。

受賞者・・・西嶋美智子　（久留米大学法学部 准教授）
受賞作品・・自衛権の系譜
—戦間期の多様化と軌跡(増訂版)
2025 年 3 月 31 日発刊　信山社出版㈱

受賞者・・・村角 愛佳　（神戸大学法学研究科 特命助教）
受賞作品・・なぜ「同意に基づく武力行使」が正当化されるのか
—理論と実行からの探求
2025 年 2 月 5 日発刊　京都大学学術出版会

贈賞式では、記念賞の選考にあたった委員より 以下の講評がありました。

西嶋美智子さんの著書

本書は、19 世紀から国連憲章採択までの自衛権概念の歴史を取り扱った力作である。特に、満州事変・日華事変・太平洋戦争についての日本の実行を政府の主張と学者の見解の双方から徹底的に分析している点、また、太平洋戦争期における「自存自衛」概念と「自衛権」概念との関係を明らかにしている点は特筆に値する。本書は、現在の自衛権概念を明確化するための、また諸国家の行動原理を理解するための大きな手がかりとなるはずである。

村角愛佳さんの著書

本書は、国の同意に基づく領域内での他国の武力行使について、同意による武力行使がなぜ正当化されるのかという理論的問題と、いかなる要件の下でそれが許されるのかという実践的問題に統合的にこたえるためには、国家対国家の視座に人間的視座を加えた二元的理解の必要性を提起した意欲的な研究書である。特に、テーマに関する膨大な先行研究の分析に加えて近年の国家実行の詳細で徹底的な検討を踏まえての実証的な研究は特筆に値し、ILA の「武力行使：要請に基づく軍事的援助」等の検討にも貢献が期待される。

前列左から
長嶺安政
（国際法協会日本支部代表理事）
村角愛佳（受賞者）
西嶋美智子（受賞者）
小和田恆
（第 22 代国際司法裁判所所長）
中村和彦（外務省国際法局長）

後列左から　中川淳司（中央学院大学教授）　薬師寺公夫（立命館大学名誉教授）
奥脇直也（東京大学名誉教授）　鈴木正貢（当財団理事長）　柳原正治（九州大学名誉教授）
坂元茂樹（神戸大学名誉教授）　山田哲也（南山大学教授）